

「2014サマープロジェクト」活動の様子

竹馬に乗れるように何度も練習しました。



西益田ボランティアハウスにて

ごはん・みそ汁づくりにチャレンジしました。



都茂公民館にて



高津児童館にて



ぐるぐるパンづくりにみんな夢中になりました。

中学生が小学生をリードして活動していました。



吉田保育所にて保育体験中



吉田南小学校にて

子どもたちが進む昨今、地方ほど、「子どもたちの周りに子どもがいない」状況が進んでいます。子どもたちは、「群れる」こともできず、親たちも、子どもたちの安全に過度に気を配らなければならない状況に

います。社会教育課では、「つろうて子育てプロジェクト」と銘打って、子どもたちを親だけでなく、地域のみんなですっかりと育てていくことに力を注いでいます。

子どもたちは、「親の子」ですが、「社会（地域）の子」でもあります。かつて、地域にたくさんの子どもがいた時代には、子どもたちは「群れ」となって遊び、その「群れ」の中で、社会で生き抜く様々な術を学んだといわれています。そして、地域の方のたくさん「目」が子どもたちを見守り、子どもたちも安心して力いっぱい遊ぶことができ、親たちも安心して子育てができたのではないのでしょうか。

いま、社会教育課では、「つろうて子育てプロジェクト」と銘打って、子どもたちを親だけでなく、地域のみんなですっかりと育てていくことに力を注いでいます。

今必要なのは、子どもたちのよりよい育ちの場をみんなで具体的に作っていくことです。親だけの力で、子どもたちが「群れ」て遊ぶ場をつくることはできません。地域の方の力がなければ、実現できません。まさに、「社会（地域）の子」をみんなで育てるという気運を醸成し、具体的に子どもたちの育ちを支える場を作っていくことが大切になってきています。

子どもを中心にして、子どもたちの育ちの場作りを通して、多くの地域の方が繋がること、これが「子縁」です。社会教育課では、益田市の各地で、子縁による新たな人のつながりが生まれることを目指しています。そして、この子縁により、多くの地域の方が動くことが、地域づくりにも発展していくと信じています。



教育委員会だより

第3号

益田市教育委員会より 平成26年10月17日発行



※3P に関連記事

「子縁」の力で！ 社会教育課長 大畑 伸幸

発見！驚き！ふるさと再発見・見学バスの旅

吉田小学校 3年生

吉田小学校の3年生は、社会科の「農家の仕事」の学習で、トマト栽培農家とJA飯田選果場に見学に行きました。

トマト栽培農家では、トマトを育てているビニールハウスの中を見せていただき、子どもたちの質問に答えていただきました。

選果場では、農家の方が収穫した野菜や果物を選別して、出荷するまでの流れについて、実際の作業や機械を見ながら説明していただきました。

子どもたちが特に興味を示したのは、機械でした。様々な作業を瞬時にする様子がおもしろく、「すごい、速い。」「ジェットコースターみたい。」等とつぶやきながら身を乗り出すようにして見ていました。



J A飯田選果場の見学

豊川小学校 3・4年生

9月17日に、豊川小学校3・4年生は、中須東原遺跡、三宅御土居を見学しました。

東原遺跡については、益田氏の歴史も含めて、文化財課の佐伯昌俊さんにお話していただきました。子ども達もよく知っている大谷城址も登場し、子ども達はより関心を持って聞くことができました。

三宅御土居については、現



三宅御土居跡の見学



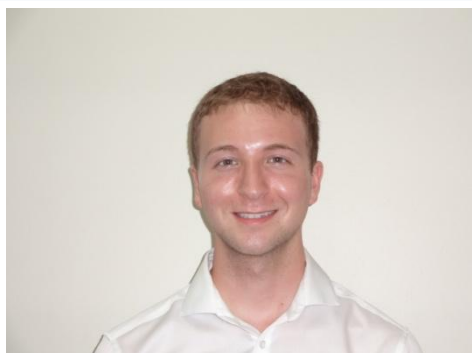
地で石川文雄さんに説明していただきました。今回、身近にある益田氏の歴史や文化財にふれることができ、今後の歴史学習に向けて、よいきっかけとなりました。

新任ALTの紹介

平成26年度は2年目を迎える3名の外国語指導助手と新たにニコラス・マレンマイスターさんを迎え、市内の小中学校の英語指導等に活躍していただいております。

ニコラスさんのあいさつ

こんにちは！ニックと申します。アメリカのミネソタ州から参りました。大学では英語の文学と日本研究を専攻して、古いイギリス文学と禅仏教を専門に勉強しました。趣味は詩や文学を読んだり、松尾芭蕉の俳句を思考したり、時々ゲームもしたり、日本語を勉強したりすることです。日本語が難しくて、日本にいる間に、自分の日本語を上達させるように頑張ります。以前に、日本に留学したことがあります。また益田で新しいことを習っています。



ニコラス・マレンマイスター

T K P (つうて子育てプロジェクト)

地域に伝わる伝統文化に目を向けよう

現在、少子化の影響もあり、地域で子どもたちが「群れ」て遊ぶ光景を見かけなくなっています。そこで、社会教育課では、モデル地区を指定し、2014サマープロジェクトを実施しました。学校・公民館・ボランティアハウス・放課後児童クラブが連携して「ごはん・味噌汁づくり」、「ものづくり」、「運動遊び」、「保育体験」などの体験活動を実施しました。

今後、これをきっかけに、子どもの育ちを支える大人のネットワークができ、地域ぐるみの子育てが広がっていくように支援していきたいと思っています。

10月からは、地域のスポーツ推進委員の支援を受けて、「運動遊び友一遊(ゆうゆう)プロジェクト」を実施しており、子どもたちが群れ遊びを通して、体力向上を図っている場を作っていきます！

文化財と聞くと、お寺や神社、遺跡、絵画や掛け軸など、形が有るもの「有形」の文化財を思い浮かべる方が多いと思います。しかし、形の無いもの「無形」の文化財も、地域の歴史を知る上で大切な「たから」です。今回は、市内の無形民俗文化財の一部を紹介します。

○道川囃子田 (市指定無形民俗文化財)

匹見町道川で、田植の際に唄い、舞われている田植うたです。

伊勢流と呼ばれる六調子のゆったりとした田植うたでしたが、一度廃れてしまいましたが、現在伝わっているものは後年に美都地域から伝えられた形式が元になっています。

現在は、地元小学校の児童が、保存会の方から田囃子を習い、毎年運動会で披露しています。



藁蛇神事



道川囃子田

益田市市内には、県または市の指定を受けている無形民俗文化財が13件あります。神楽や神事、盆踊りなどで、どれも各地域で大切に継承されてきた伝統文化です。

近年は藁蛇神事のように、過疎・高齢化の影響で継承が難しくなっている文化財も多くあります。指定、未指定を問わず、身の回りの伝統文化や風習に改めて目を向け、子どもたちにも伝えていきたいものです。

藁を編んで手作りした約7メートルの蛇形を、ご神木である神社裏の椿の木に巻きつけ、五穀豊穡を祈ります。

過疎化と高齢化により住民数が激減しており、現在は60歳を超える3軒の家で継承されています。

～夏休みの活動一覧～

期日	主催	時間	会場	プログラム	備考
7月24日(木) 8月19日(火)	西益田ボランティアハウス 西益田児童クラブ	9:00 ～ 13:00	西益田小学校	「ごはん・味噌汁づくり」 「ものづくり」	
8月4日(月) ～ 8月8日(金)	都茂公民館 都茂児童クラブ	10:15 ～ 15:00	都茂小学校	「ごはん・味噌汁づくり」 「運動遊び」	美都中学校ボランティアの参加
8月6日(水) 8月7日(木)	高津児童館 高津児童クラブ	13:30 ～ 15:30	高津児童館	「ぐるぐるパンづくり」 「簡単工作」	
8月20日(水)	吉田南ボランティアハウス 吉田南児童クラブ	9:30 ～ 15:00	吉田南小学校	「ごはん・味噌汁づくり」 「運動遊び」	益田中学校ボランティアの参加
7月28日(月) ～ 8月1日(金)	吉田地区ネットワーク会議(吉田公民館)	9:00 ～ 16:00	吉田地区内保育所	保育体験	益田中学校3年生が参加

給食で食生活を見直す ～興味を持たせ生活リズムを調整～

学校給食には単に「食べる」ことだけにとどまらず、多くの教育的意義が内包されています。献立作成の段階で学校生活や家庭生活も視野に入れ、児童・生徒に対しての想いを込めながら、月ごとにテーマを設定しています。夏休みは児童・生徒にとっても楽しい期間ですが、一方で不規則な生活になりがちな面もあり、始業式と同時に家庭も含めた生活リズムを整える事は難しいものです。8・9月は、夏休み明けであることに加えて暑さも厳しく、朝夕の温度差も激しいことから体調を崩しやすい時期とされています。また、体育祭や運動会の練習等により日々の運動量も増えて疲労が蓄積されるせいか、例年この時期は残滓も多くなる傾向にあります。

そこで、8・9月の献立は、食事の段階から生活リズムを整えることを意識してもらえそうな内容にしたうえで、「食生活について見つめなおそう」というテーマにしました。さらに食べやすいメニューを多く取り入れ、いろんな食材をひと口でも多く食べて、残暑が厳しい時期を元気に過ごしてもらえよう工夫しました。そのなかでも特にテーマに沿った「益田の食育の日」の献立を紹介します。

貴重な生産者のお話を伝える

献立には出来るだけ益田産の食材を使用し、「益田市」を身近に感じられるようにしています。そして、生産者を直接取材し、生産工程や留意点などについてのお話を伺ったうえで、学校や保護者宛に配布する「献立表」にその内容を掲載しています。

8・9月の紙面では「煮干し」の生産者を紹介し、食育の日には大きさが違う2種類の煮干しを使用しました。地元産食材の生産は手作業によるものが多々ありますが、こ

★9月19日の献立

ごはん、なめこ汁
塩昆布和え、牛乳
大豆とちりめんのごまがらめ



献立作成 斎藤 絵里

の煮干しも長年に渡って継承されてきた技術力と知識に支えられていて、とても手の込んだ加工品です。大きい煮干しは汁物のうまみを引き出す出汁として、また中くらいの煮干しは素揚げし、噛みごたえのある食材として、児童・生徒に提供されました。今後も、食べることの楽しさだけでなく、日々の食生活も振り返ることができるような献立づくりに配慮していきます。

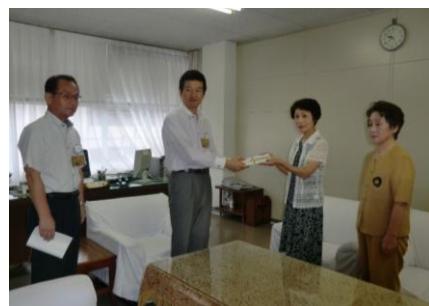
寄贈、寄付のお礼

図書館へ図書寄贈

- ・公益社団法人 益田法人会 様
- ・益田市奨学金へ寄付
- ・社会福祉法人 梅寿会 様
- ・国際ソロプチミスト益田 様
- ・西平原町 故 田中 豊 様
- ・桂平小学校へ寄付（ジャングルジム設置及び遊具修繕）
- ・公益財団法人 加藤山崎教育基金 様
- ・市内全中学校へ図書寄贈
- ・千葉県柏市 橋本眼科医院 院長 橋本 哲也 様
（益田市出身）



益田法人会 様



国際ソロプチミスト益田 様

新教育委員長、新教育委員の紹介

10月2日付で任期満了により中島匡博教育委員長が退任されました。

新たに10月3日付で渡辺隆委員を迎え、新教育委員長には平谷太委員が選出されました。

